



事業と環境のかかわりの全体像

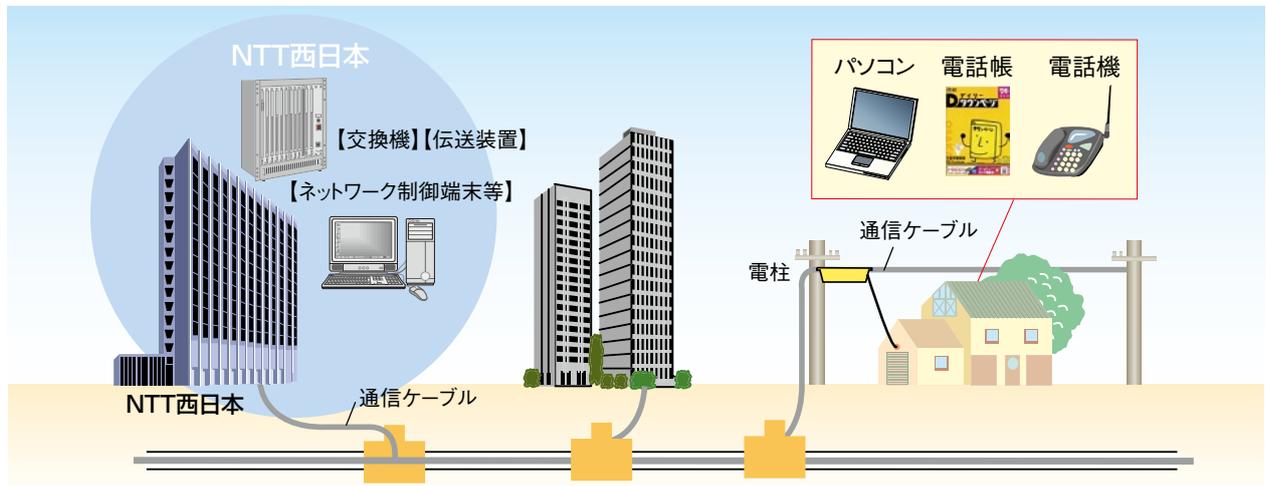
事業活動が与える環境負荷

西日本全域で事業を展開するNTT西日本グループは、事業規模も大きいだけに大きな環境負荷を与えています。例えばお客様の通話を可能とする為には、電話機や西日本全域に張り巡らされた通信ケーブルおよび交換機等のネットワーク(図1)が必要となります。

また、それらに関する物流・工事・運用・サービス・商品の提供といった事業活動には大きな環境負荷が伴います。

次ページに示すマテリアルフローには、その中でも大きな環境負荷となる要素を具体的に示しています。

図1 通話・通信などを可能とするNTT西日本のネットワーク



環境共生への取り組み

NTT西日本グループでは、事業活動を行う上で、地球環境問題を企業の重要な責務として、環境共生に向けて、各種対策を実施しています。

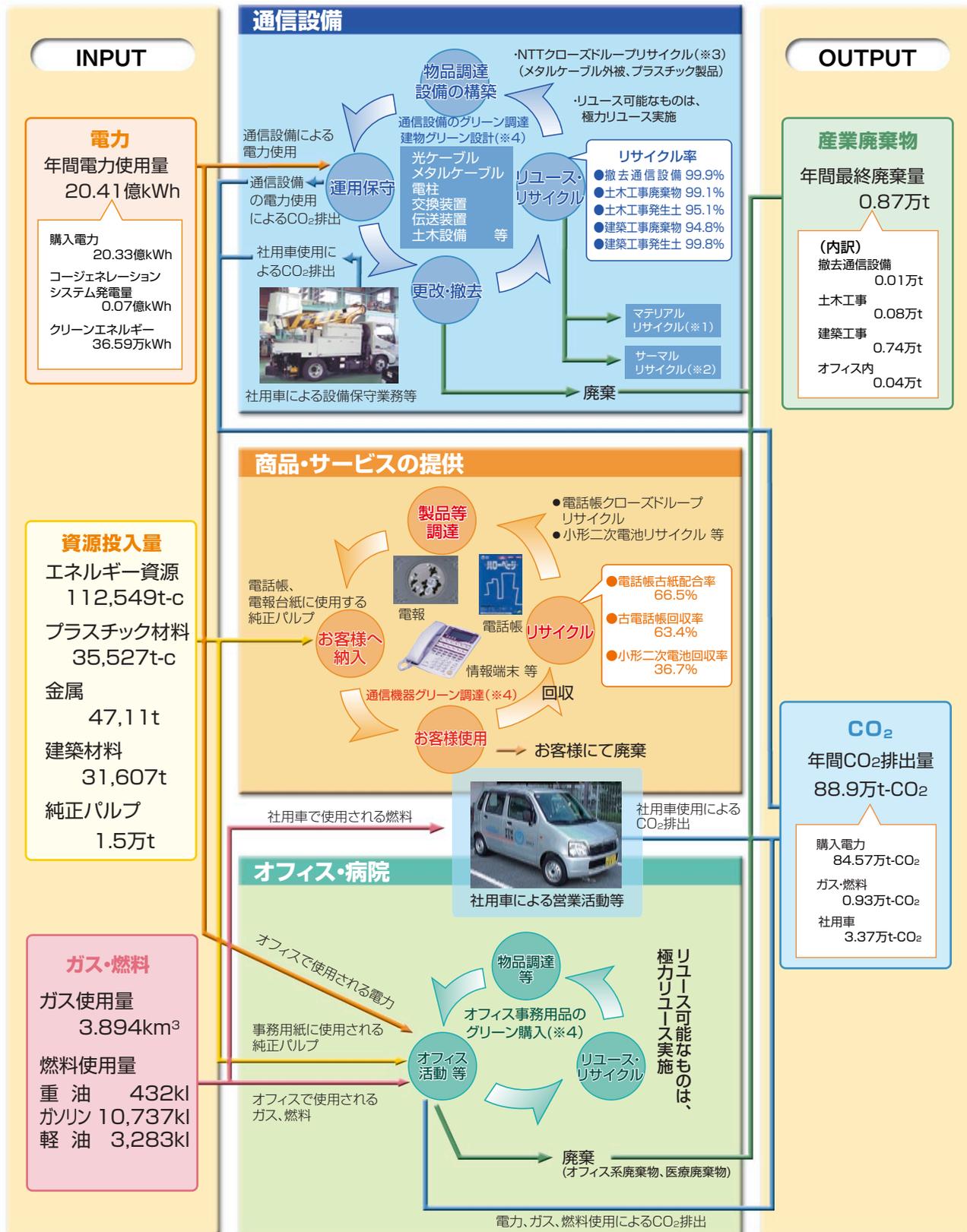
主に通信設備に使用される電力使用量の削減(温暖化防止対策)、撤去通信設備・土木・建築・オフィス内の全てに関する産業廃棄物の削減及びリサイクル率の向上(産業廃棄物削減対策、リサイクル対策)、主に電話

帳に使用される紙資源の節約(紙資源削減対策)、通信機器・パソコン等のリサイクル推進(リサイクル対策)となります。

NTT西日本グループでは、次ページに示すマテリアルフローを定量的・定期的に把握し、振り返ることにより、継続的な環境負荷の低減に役立てています。



2007年度マテリアルフロー



※1 マテリアルリサイクル：廃棄物を回収し製品の原材料として再利用すること。
 ※2 サーマルリサイクル：廃棄物を回収して燃やし、これを熱エネルギーとして再利用すること。
 ※3 クローズドループリサイクル：NTT撤去物品等をNTT物品として再生することであり、マテリアルリサイクルの方法の一つです。電話帳は回収した古電話帳を新しい電話帳用紙に再生することから、クローズドループリサイクルと呼んでいます。
 ※4 グリーン調達・設計・購入：電気通信設備等の構築から、社員が使用する事務用品、お客様へ提供する製品に至るまで、環境に配慮した調達・設計・購入をしています。